

平成27年度 当施設におけるボランティアの活動状況

5月23日、24日に法人ボランティア養成事業の「How To ボランティア」を実施し、今年度も継続して登録した法人ボランティア55名に加え、53名が新規にボランティア登録し、今年度の事業に向けた追加登録で10名が加わり、総勢118名が当施設の事業運営の補助を行ってきた。今年度は「ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクト」をとおして、ボランティアとしてのスキルアップや事業に向けた運営の準備、自主企画の準備や報告会等を行った。継続登録の法人ボランティアが本年度登録のボランティアの指導を含め活動を行い、当施設の運営に大きく貢献している。また、日独学生リーダー研修の日本学生リーダー、立能登青少年交流の家で行われたボラシャッフルキャンプへの参加など、全国規模で岩手山の法人ボランティアが活躍している。今年度は、国立青少年教育振興機構の理事長から、岩手山法人ボランティア6名が理事長表彰を受けた。

・主な事業における法人ボランティアの参加状況

No	活動名	参加状況		主な活動内容
		日数	人数	
1	How To ボランティア	3	14	ボランティア活動紹介, 受講者の補助
2	ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクト(8回)	11	137	講義, 演習, 自主企画打合せ, 「テンパークちゃれんじくらぶ秋・冬」打ち合わせや事前研修等
3	頭と心と体の3(未)体験フェスティバル	1	4	木の工作・プラとんぼ作成補助
4	さんりく体験!探検ツアー	3	5	Gリーダー, 体験活動補助, 生活指導補助
5	日独学生青年リーダー交流会	4	18	意見交換, 共同体験, 小学校訪問準備
6	滝沢市産業まつり	2	2	木の工作補助
7	テンパークちゃれんじくらぶ・秋	3	20	Gリーダー, 生活全般指導補助, 企画運営
8	親子宿泊体験・テンパークまつり	1	34	受付, 創作活動, 自然体験活動
9	テンちゃん一家の一週間	7	12	Gリーダー, 生活・学習の補助
10	えいご de キャンプ	3	29	体験活動支援, 生活全般指導補助
11	スキーすき好き シーハイル! (2回)	2 2	6 11	スキー体験補助, 生活指導補助, 活動支援補助
12	テンパークちゃれんじくらぶ・冬	3	20	Gリーダー, 生活全般指導補助, 企画運営
13	県北ステラまつり	1	1	創作活動補助
14	親子で楽しむ自然体験 in 冬のテンパーク	2	11	自然体験補助, 創作体験補助



今年度の How To ボランティアの参加者



ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクト
テンパークちゃれんじくらぶ・冬 企画会議

平成 27 年度の法人ボランティア活動状況

	活動総数	参加人数
主催事業及び連絡協力推進事業	337	752
他施設	28	107
ボランティア自主企画	75	136
外部団体	9	17
合計	449	1,012

■活動状況に関する一覧表およびグラフの補足説明

a. 登録者数推移について

登録者数は、平成 24 年度を境に右肩上がりを示している。特質すべき点は、平成 24 年度から安定的に 40 名～60 名ほどの新規ボランティアを獲得している点である。さらに、「岩手山ボランティア育成ビジョン」の草案を視野に入れた平成 25 年度のボランティア登録更新者（数値は平成 26 年登録者数に反映）からは、2 年目以降もボランティア登録を継続する学生が安定的に増加していることが分かる。

b. 年代別登録数について

年代別登録数を見ると、平成 25 年から 27 年にかけて、大学 1, 2 年生の年代である 18 歳, 19 歳の割合が増加している。一方で、新規ボランティアにとって憧れや目標のロールモデルとなる、大学 3, 4 年生の年代である 20 歳, 21 歳, 22 歳の割合は、平成 25 年度から安定数を維持できている。

c. 延べボランティア活動人数推移

平成 20 年度から、「ボランティアのためのスキルアップ研修」を事業として展開しており、定期的にボランティアミーティングを実施していた。しかしながら、職員やボランティアの入替えに伴い、少数の特定人物だけが参加する閉鎖的な環境となっていたため、平成 24 年度に縮小を検討し始めた。

検討の結果、平成25年度はボランティアミーティングの実施を「テンパークちゃれんじクラブ夏・冬」における事業企画活動のみに限定し、年4回の開催とすることとした。平成24年度までのボランティアミーティングは、ボランティア日当や旅費の支払いもしていたため、事業運営費の効率的な運用の側面でも削減する必要があると判断し、定期ボランティアミーティングは廃止とした。

「岩手山ボランティア育成ビジョン」の草案を作成し始めた、平成25年度からは、ボランティアの活躍機会を効率的に提供できるようになり、ボランティアミーティング以外の教育事業に参加するボランティアが劇的に増加している。

平成27年度は、「岩手山ボランティア育成ビジョン」の発展期に伴い、ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクトを展開している。ボランティアブラッシュアッププロジェクトの展開の成果もあり、平成27年度の延べ活動総数は前年から倍増の1,012名である。今年度の活動機会の増加には、幾つか要因が挙げられるが、第一にボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクトへの参画（延べ298名）が挙げられる。また、ブラッシュアップ・プロジェクトの講師に他施設のボランティア・コーディネーターを招聘することで、那須甲子ドリームプロジェクトⅣ（14泊15日）に参加する者もあった。さらに、岩手山職員が企画実行委員会委員となっている機構本部の教育事業「世界の仲間とゆく年くる年」においても、複数のボランティアが参加した。